

# コードオブコンダクト (行動規範) FREUDENBERG GROUP



# 目次

- A. 概要
- B. コンプライアンス違反の可能性についての情報
  - 1. 人権、健康、労働安全、環境・気候保護
  - 2. 協力
  - 3. 会社資産と機密情報
  - 4. ソフトウェア、電子メール、ソーシャルメディア、インターネット
  - 5. 会計および財務レポート
  - 6. データ保護
  - 7. 取引先との協力
  - 8. 独占禁止法と競争
  - 9. 利益相反
  - 10. 汚職
  - 11. マネーロンダリングとテロ資金供与の禁止
  - 12. 製品の適合性と安全性
  - 13. 外国貿易管理法
  - 14. 政治活動
  - 15. 違法薬物、アルコール、武器
  - 16. 公式声明

## A. 概要

### 従業員各位

フロイデンベルグ・グループは、全世界で事業を展開しています。フロイデンベルグ・グループは事業を行う全ての国の法律を遵守する義務を負っています。法律を遵守しない場合、世界中でフロイデンベルグ・グループがよって立つ社会的受容が損なわれます。フロイデンベルグ・グループは全ての役員、マネージャー、従業員\* が最高の誠実さと倫理に基づいて行動することに専念していることを誇りに思っています。世界中でフロイデンベルグ・グループが直面するさまざまな要件と課題、常に変化する条件と規制により、フロイデンベルグ・グループは全従業員が遵守すべき基準と行動を明確化する必要があります。

**ガイディングプリンシプル**は、フロイデンベルグ・グループの経営理念 (Business Principles) を指すものとする)と共に、法律やその他の規制を遵守し、正義を推進し、文化の違いを尊重し、社会的責任を果たし、環境を保護し、フロイデンベルグ・グループで働く人々およびフロイデンベルグ・グループのために働く人々の幸せを守るという、フロイデンベルグ・グループの継続的な取り組みを強化するものです。これらの理念は、深く根付いているフロイデンベルグ・グループの企業文化の証しとして存在します。これらの理念は、チームワーク、イノベーション、顧客志向、フロイデンベルグ・グループの長期的な成功を促進するための信頼と信用を特徴とする企業風土を作るものです。

本行動規範は、これらのガイディングプリンシプルと経営理念に基づいており、全従業員がこれに拘束されます。それぞれの立場に関係なく、各個人に期待される個人的な行動基準を明確化することが目的です。これはあなたが倫理および法的事項を適切に処理できる状態にすること、およびデリケートな問題に対処することを支援することを目的としています。本行動規範で定められた行動規則は、あなたの私生活に干渉するものではありません。しかし、フロイデンベルグ・グループで勤務する際は、各自が法律を遵守し、責任ある行動をするという基本姿勢が必要です。経済目標を達成することだけが、フロイデンベルグにおける成功の指標ではありません。社会、顧客、取引先、その他の利害関係者からの信頼を維持するための鍵は、各人の誠実さと法律を遵守する行動にかかっています。フロイデンベルグ・グループは企業理念と一致しない事業活動は行わず、コンプライアンス違反に対しては容認しない方針を掲げています。違法行為は、損害賠償請求、罰金や罰則による利益損失、受注および入札からの排除など、さまざまな損害をもたらし、顧客とのビジネス関係や世間からの評判を損なう可能性があります。従って、フロイデンベルグ・グループは法的規制および社内規則に違反する行為を直ちにやめさせ、厳正な処分を行い、そのような違反が今後起こらないようにします。法律で規定された処罰にかかわらず、違反行為が行われた場合、各人は懲戒処分を受け、労使関係において処分が行われます。いかなる者も、法律に違反したがフロイデンベルグの利益のための行動である、と主張することはできません。

\*以降の文章中、「全従業員」とは「役員」、「マネージャー」、「従業員」を指します。



この規範は、それぞれのビジネスグループ、管理部門、または地域の代表 (Freudenberg Regional Corporate Center) が発行するコーポレートガイドラインで補完されます。あなたには適用される原則と規則について十分

な情報が与えられ、あらゆる決定を行う際はそれらを考慮することが期待されます。フロイデンベルグは、あなたが義務を果たすために必要なあらゆる情報とサポートを提供します。

## B. コンプライアンス違反の可能性についての情報

### 連絡先／サポート

間違い、望ましくない展開、不満についてのコミュニケーションを含む開かれたお互いの話し合いはフロイデンベルグ・グループの企業文化（遠慮なく話す、しっかり聞く）の一部です。

行動規範についての質問がある場合、特定の行動または会社の方針が本行動規範に準拠しているかどうかについての懸念がある場合、何らかの助言が必要な場合、（現地の）法律や行動規範に違反している（または違反が起こる）疑いがある場合、あなたには次のことが求められています。

- 直属の上司またはマネージャーへ連絡する。
- 疑いが上司またはマネージャーに関連する場合、もしくは何らかの理由でその問題について第三者と話し合うことを希望する場合には、より上位の別のマネージャーに問題を報告する。
- コンプライアンス事務局または、グループもしくはビジネスグループレベルの関連する専門部門（HR、HSEなど）に連絡する。

## エシックスオフィス

フロイデンベルグ・グループ企業各社および第三者（フロイデンベルグ・グループ社外の顧客やサプライヤーなど）は、会社が関連する法律／経営理念の（差し迫った、またはすでに行われている）違反をコーポレートエシックスオフィスまたは地域のエシックスオフィス宛に匿名で報告することができます。同様のことはフロイデンベルグ・グループの行動規範、その他の社内および社外の方針、前述の規則に従った現地の慣習にも当てはまります。内部告発者はフロイデンベルグの事業分野における経済活動に起因する、またはフロイデンベルグの直接的または間接的な供給業者もしくはそれらを介して生じた人権や環境へのリスクおよびドイツのサプライチェーンにおける企業のデューデリジェンスに関する法律（Lieferkettensorgfaltspflichtengesetz）に基づく人権または環境義務への違反を報告することができます。

フロイデンベルグは内部告発者の匿名性を保証します。従業員は本行動規範の原則に違反する疑いを誠実に報告したことによる、あるいは違法な可能性のある行為を拒否したことによる、いかなる不利益、罰則、その他の懲戒処分を恐れる必要はありません。

ヴァインハイム、2023年7月1日  
**Freudenberg & Co. Kommanditgesellschaft**

### Freudenberg SE



Dr. Mohsen Sohi



Dr. Tilman Krauch



Dr. Ralf Krieger



Esther Maria Loidl

### フロイデンベルググループ労使協議会（ドイツ）



Harald Boch



Ronni Strack

### フロイデンベルグ欧州従業員代表委員会



Karl-Johan Spuur-Mortensen



Giuseppe Iavarone

# 1. 人権、健康、労働安全、環境・気候保護

## 企業責任と労働環境の基本原則

### 健康保護と労働安全

フロイデンベルグは従業員の健康を守り、第三者を保護し、事故、けが、業務上の健康被害を防止するために、安全な労働環境を確保し、職場の健康と安全規制、環境保護に関する規制を遵守することを確かに約束します。フロイデンベルグ・グループの「We all take care」およびその他の取り組みは、全ての従業員に安全な労働環境を提供および確保するためのフロイデンベルグ・グループの取り組みの中心です。全従業員は自身の健康と安全だけでなく、同僚や取引先の健康と安全にも責任を負っています。次のことが全ての個人に適用されます:安全な作業慣行を促進し、健康のリスクを最小限に抑えるため、職場の全ての安全規則を遵守し、漏れなく従う必要があります。フロイデンベルグ・グループは雇用する地域の条件、地域の最低賃金法、適用される労働協約の条件に基づいて、適切な賃金と給与を支払うことに努めています。フロイデンベルグ・グループは残業、休憩、有給休暇を含む労働時間について、適用される全ての現地の法律を遵守します。

### 環境および気候保護

フロイデンベルグ・グループはできる限り、環境に負荷の少ない行動を取る責任を負います。フロイデンベルグ・グループの使命は、生産プロセス、製品、サービスで使用する天然資源をできる限り保守的かつ思慮深く利用することです。やむを得ない残留物またはリサイクルできない残留物については、フロイデンベルグ・グループは法律の要件に従い、責任を持って処分します。フロイデンベルグのビジネスプロセスの中で、環境保護はしっかりと浸透しており、プロセスを継続的に最適化することで、原材料とエネルギー消費量を着実に削減することが目標です。フロイデンベルグは持続可能な方法でフロイデンベルグ・グループを管理し、国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を基本理念として掲げています。フロイデンベルグは事業を展開する各国の気候変動についてのそれぞれの目標遵守に加えて、2045年までにグループとしてCO2ニュートラルの達成を目標としています。





## 人権

フロイデンベルグ・グループの経営理念およびガイディングプリンシプルに従い、フロイデンベルグはフロイデンベルグ・グループが署名した国連グローバルコンパクトの原則に従って、国際的に認められた人権および基本的自由を尊重しています。

全てのフロイデンベルグ・グループ企業および直接・間接的なサプライヤーにおいて、児童労働、強制労働、奴隷労働が行われることに反対します。

フロイデンベルグ・グループの全従業員は、差別、脅迫、あらゆる種類の報復を受けることなく、組合／労組に参加または結成する自由があります。フロイデンベルグ・グループは雇用する地域の法律に従った労働組合の自由な運営（特にストライキ権および団体交渉権）を認め、尊重します。従業員が民主的に選出された労使協議会で代表される場合にも、これを尊重します。フロイデンベルグ・グループは従業員の代表および組織との建設的な協力を醸成することに努めます。

## 2. 協力

フロイデンベルグ・グループは開かれた対話とチームワークを大切にしています。全従業員は、仲間を尊重します。マネージャーはこれに関して、ロールモデルとして行動する必要があります。

### 機会の均等と差別の禁止

フロイデンベルグ・グループの従業員は社会の多様性を反映し、さまざまな言語、文化、生活様式を持ちます。フロイデンベルグ・グループはあらゆる従業員の個性を大切にしています。フロイデンベルグ・グループは従業員のあらゆる文化や出自を尊重しています。フロイデンベルグ・グループは全員がそれぞれ企業家精神と行動力を発揮し、率先して責任を持って会社に貢献することを期待しています。フロイデンベルグ・グループは従業員が評価され、その意見を聞き、尊重される多様で包括的な労働環境を作り、促進し、維持します。フロイデンベルグ・グループは多様性を受け

入れる文化を醸成し、全員が国境やグループを横断するチームとして協力し、異なる文化やスキルを最大限に発揮できる環境を整えています。

フロイデンベルグ・グループは特に、国籍、民族、社会的出自、宗教、イデオロギー、政治思想、性的指向、労働組合への関与、年齢、健康状態、性別、障害に基づいた差別や不平等な取り扱いを容認していません。フロイデンベルグ・グループは弱者や無力な存在の人々を差別および搾取しません。フロイデンベルグでは、全員が共に学び、成長し、発展できる企業文化を誇りにしています。

### 職場での暴力とハラスメント(迷惑行為)

職場内暴力は許容されません。これには明示的または黙示的な脅迫、肉体的暴行、あらゆる種類の嫌がらせが含まれます。



## 3. 会社資産と機密情報

### フロイデンベルグの会社資産と機密情報

全従業員は責任を持って会社資産を取り扱い、全てのフロイデンベルグの資産を紛失、損傷、盗難、誤用、不正利用から保護しなければなりません。これらの資産には、有形資産だけでなく、機密情報、ノウハウ（製法など）、特許、ブランド、著作権、商標、会社名、製品名、ロゴなどの無形資産も含まれています。いかなる場合においても、フロイデンベルグの資産の不正な流用、使用、誤用は禁止されています。

未公開の事業に関連する情報または取引についての秘密は、機密として扱わなければなりません。従業員がこれらの情報を社内外の権限のない人物に開示したり、自身または第三者の利益のために利用したりすることは禁止されています。これは特に、まだ一般には公開されていない事業の具体的な詳細情報が当てはまります。これらの規則に違反すると、フロイデンベルグに重大な損害を与え、民事罰および刑事罰が科される場合があります。



### 他社の情報

他社についての一般的に入手可能な情報を収集することは許可されていますが、違法、公正ではない、その他の疑わしい方法で他社に関する情報を入手することは禁止されています。フロイデンベルグはしばしば他社と取引関係を持ち、これらの企業はフロイデンベルグ・グループに自社の機密または専有情報を開示します。有効な機密保持契約を締結後にのみ、そのような情報を受け取ることができます。

## 4. ソフトウェア、電子メール、 ソーシャルメディア、インターネット



ハードウェア、ソフトウェア、およびそれらが処理および保存するデータを含む情報技術 (IT) システムは、フロイデンベルグの事業運営に必須のものです。一般的に、それらは会社の資産であり、フロイデンベルグの事業目的にのみ使用できます。フロイデンベルグITシステムへのアクセス権限（一時アクセスを含む）を持つ人物は、フロイデンベルグ・グループおよびそれぞれのビジネスグループのITセキュリティガイドラインに従い、適切な方法でシステムを使用しなければなりません。

ソーシャルメディアの利用が増加・拡大し、それが許可されている場合でも、機密情報を保護し、フロイデンベルグ・グループの評判を守るというフロイデンベルグ・グループの基本方針を妨げることは許されません。従業員はフロイデンベルグの評判を守り、忠誠、守秘義務、誠意を持って行動するものとします。そのためには、従業員は法律、法的規制、データセキュリティを常に遵守しなければなりません。

会社のメールアドレスを使用する際は、全ての従業員は同僚や外部の取引先の倫理的行動原則に配慮する義務があります。会社に悪影響を与えたり、助長したりしないように、最大限注意するとともに努力してください。

## 5. 会計および財務レポート

フロイデンベルグ・グループ内の全ての法人の年次財務諸表、会計帳簿、記録、勘定は、会社の記録の一部であり、会社の財産および重要な資産を構成しています。これらは正確であり、全ての法律および会計要件、ならびにフロイデンベルグの社内会計方針に準拠し

ている必要があります。全従業員は、そのような記録の作成、使用、管理、保管、および該当する場合は記録の安全な破棄に責任を負います。そのような行為は会社の方針、基準、手順、現在の法的要件に従ってのみ実行してください。



## 6. データ保護

個人情報を保護するため、個人情報の取り扱いには特別な法的規制が存在しています。一般的に、個人情報の収集、保管、処理、その他の使用には、データ主体の同意、契約、その他の法的根拠が必要です。フロイデンベルグは従業員、顧客、サプライヤー、その他のデータ主体の個人情報を保護します。フロイデンベルグは法律によって要求されている場合、

または通常の事業運営で必要な場合にのみ、個人情報を収集、処理、使用、保存します。全従業員は会社の情報と同様に、これらの情報を尊重し、しっかりと保護する必要があります。個人情報保護法は国ごとに異なります。フロイデンベルグ・グループは、事業を行っている各国の法律と規制を遵守します。

## 7. 取引先との協力

フロイデンベルグは従業員に法的要件、本行動規範、フロイデンベルグ・グループのコンプライアンスに関する全ての規制の枠組みを遵守することを期待します。従って、フロイデンベルグ・グループは特にサプライヤーや販売代理店などの取引先にも、倫理的行動、人権、法律の遵守、環境に配慮した運営に関する基本原則を共有し、遵守することを期待します。特定のリスクに応じて、拘束力のある契約を締結する前に、取引先の倫理的行動原則を確認するための検査を実施します。

フロイデンベルグ・グループのサプライヤーは、自身の行為をフロイデンベルグ・グループの価値に合わせ、この義務をサプライヤーに伝達し、確実に遵守させることを約束します。取引先がフロイデンベルグ・グループの基本原則に違反している可能性がある場合には、フロイデンベルグ・グループは当該取引先と協力してその局面を開き、必要があれば処分を行います。このプロセスにより、フロイデンベルグ・グループのサプライヤーも、本行動規範の要件と基準を満たしていることが確保されます。









## 8. 独占禁止法と競争

競合他社間の談合（水平的協約）は、それらが競争の防止や制限を目的とする場合には禁止されています。欧州連合（EU）、米国、その他の国々では、さまざまな種類の垂直的協定（サプライヤーと顧客間、特許所有者とライセンサー間の契約など）も禁止されています。

フロイデンベルグは、不正または欺瞞（ぎまん）的な取引慣行を禁止する全ての法律を遵守しています。同様に、フロイデンベルグは顧客やその他の取引先をボイコットする調整、または非公式な協定を締結しません。

従って、フロイデンベルグは自由競争市場の機能を確保し、不正な競争制限を防止する独占禁止法およびその他の商法を完全に遵守することを全従業員に求めています。価格操作の取り決め、入札の操作、競合他社との顧客や市場の分割についての取り決めを行うことは厳しく禁止しています。

フロイデンベルグの従業員は、次のテーマに関連する場合、競合他社と情報を交換したり、議論をしたりすることはできません。

- 製品価格、価格変更、差別価格、利益率、コスト、割引、リベート
- 業界全体の価格ポリシーまたは慣行、価格水準、価格の変化
- 価格設定や製品マーケティングに関する計画
- 顧客からの問い合わせに対する価格見積（入札手続きまたは個別の販売）入札のための製品構成を含む
- 生産能力および計画変更についての情報
- 開発中の新製品およびその他の機密戦略
- 地域、顧客や市場の分割
- 顧客固有または取引固有の機密情報

競合他社との接触ややり取りの適切性に関する疑義は、セクションBに記載の役割の担当者のいずれかと話し合い、直ちに解決してください。

## 9. 利益相反

フロイデンベルグ・グループでは従業員が最高の倫理基準を保つことを期待しています。既存または潜在顧客、サプライヤー、競合他社、その他の取引先とのあらゆる商取引において会社の利益が最優先事項となります。

個人的な利害や利益に基づいて、ビジネス上の判断を行うことは許容されません。個人的な利益は、フロイデンベルグ・グループの利益とは厳密に分離される必要があります。利益相反は、従業員がフロイデンベルグの利益を犠牲にして、自身の活動や個人的利益を追求するときに生じます。既存の利益相反または潜在的な利益相反は防止されなければならず、上司またはコンプライアンス責任者に開示されなければなりません。

### 例:

- 個人的な利益を得る目的で、フロイデンベルグが権利を持つビジネスチャンスを悪用すること。
- あなたの業務の遂行に影響を与える可能性または与えているように思われる現在のまたは潜在的な取引先や競合他社との関係。

- 直属または非直属の上司が従業員の血縁者、婚姻関係、その他類似の関係者（パートナーシップ制度など）となった場合。
- フロイデンベルグと類似または競合する製品またはサービスのマーケティング。
- 個人的な利益のために立場や会社の財産を悪用すること。
- 会社の代表として、親族または親しい友人と契約を結ぶこと。
- フロイデンベルグの勤務時間中に、今後フロイデンベルグと競合する可能性のある取引の管理または準備のために時間を使うこと。
- 自分の利益のため、またはフロイデンベルグを害する方法で機密情報を使用すること（例: 企業の株価に影響を与える可能性のある情報は、個人の株式取引に利用できません[インサイダー取引]）。



## 10. 汚職

### 汚職の禁止

全世界的に汚職は刑事犯罪として起訴されます。フロイデンベルグでは、汚職、賄賂、横領、詐欺、謝礼金の受け取り、その他の商取引におけるあらゆる形式の不正行為を厳格に禁止しています。

### 贈り物、招待、接待

仕事の関係では、贈り物、招待、接待の形式での利益供与が一般的です。それらの利益供与が適切な範囲に留まり、社内規則や法令に違反しない限り、問題視されることはありません。しかし、多額または不適切な贈り物や接待により、第三者に影響を与えることは非倫理的であり、あなた自身の仕事上の評判だけではなく、フロイデンベルグの評判も大きく損なうことがあります。また、法律で罰せられることもあります。

フロイデンベルグ・グループでは、贈り物、接待、イベントへの招待の取り扱いについての社内ガイドラインを作成し、適切な利益供与と、利益の受諾および供与の際に遵守する必要がある審査手順を明確に定めています。これらのガイドラインを理解し、漏れなく遵守してください。

これらのガイドラインでは、次の贈り物、接待、招待が認められています。

- 社会的に適切で、金額の低いもの（例：フロイデンベルグのワインギフトやカレンダーなど、毎年の贈り物）。
- 仕事の決定に影響を与えることを意図していないもの、そのような印象を与えないもの。
- いつでも、オープンかつ透明性を持って贈ることができるもの。

- いかなる法律にも、一般的な倫理基準にも反していないもの。

贈与または受領が禁止されているもの：

- 現金や金券（商品券や有価証券など）。
- 受取人の個人住所への金品（不透明な贈り物）。
- 金額、頻度（例：半年の間に3回）、性質に照らして、仕事関係では不適切な金品。

### 公務員との関係

公務員、代議士、政府、当局、その他公的機関の担当者との付き合いでは、しばしば特別な法律要件が適用され、1回の違反でも重大な結果をもたらす、フロイデンベルグ・グループとその従業員に大きな損害を与えることがあります。

従業員は、公務員および国際機関の職員に影響力を行使するために、金銭、贈り物、その他の違法な手段を提供することはできません。公務員や代議士との接触は、汚職防止についての法律や適用される社内規程の厳格な遵守に基づいて行われます。

「円滑化のための金銭支払い」、つまり公務員の仕事を迅速化してもらうための支払いも禁止されています。

本セクションの規則はフロイデンベルグ従業員に直接適用されるのみならず、フロイデンベルグの名前または代理で仕事を行う全ての人物および取引先（例：販売代理店、コンサルタント、プロジェクトパートナー）にも間接的に適用されます。従って、フロイデンベルグの従業員は、そのような資金が汚職活動に使用される、または秘密口座の開設に使用されると知っている、もしくはそう信じる理由がある

場合、いかなる状況においても、仲介者への金銭の支払い、贈り物、その他の不適切な資金の授受は許可されません。

## 寄付と後援

フロイデンベルグの歴史では、芸術、科学、研究の促進、若者や研修生のサポート、困窮者支援など、人間の共存に関わるさまざまな分野で、幅広い社会貢献活動を実践してきました。フロイデンベルグ・グループおよびその同族株主は、社会的責任を果たし、フロイデンベルグ・グループが事業を行う全ての州、国、コミュニティで良き隣人として認められることを目指しています。

全ての寄付は透明性が必要です。特に、受取人の身元と寄付の使用計画は知っておく必要があります。寄付の理由と目的は、法的に適切な方法で文書化する必要があります。

一般的に認められない寄付:

- 慈善団体として認められていない個人または組織への寄付、もしくは特別な規定により許可されていない寄付。
- 個人口座への寄付。
- フロイデンベルグの経営理念と合致しない目的を持つ組織への寄付。
- フロイデンベルグの評判を損なうような寄付。

全ての後援活動には透明性があり、書面による契約がなされ、フロイデンベルグの利益のためになる良い評判を目的とし、提供する金額と同等の価値であることが必要です。寄付および後援は、寄付の提供ガイドラインに従い、この目的で実施される承認プロセスが完了後にのみ支払いがなされます。

## 11. マネーロンダリングとテロ資金供与の禁止

フロイデンベルグ・グループ各社との取引が、マネーロンダリングやテロ資金供与に悪用されることがあってはなりません。フロイデンベルグ・グループは第三者が犯罪の「利益」を手に入れるためのあらゆる取引に反対します。

マネーロンダリングとテロ資金供与は、世界のほぼ全ての国で処罰の対象です。

- マネーロンダリングとは、犯罪行為から直接または間接的に得られた金銭やその他の資産を、合法的な経済循環に持ち込み、その出所を隠す状況を指します。
- テロ資金供与とは、テロ犯罪やテロ組織を支援するために資金やその他のリソースが提供される状況を指します。

フロイデンベルグはマネーロンダリングやテロ資金供与のリスクに対して、積極的に取り組んでいます。フロイデンベルグ・グループが宣言する目標は、事業活動が法的規制とフロイデンベルグ・グループの経営理念に合致し、経営資源が合法的なものである信頼できる取引先とのみ関係を維持することです。従って、フロイデンベルグ・グループはビジネス関係およびキャッシュフローの透明性をできるだけ高めることに努めています。

## 12. 製品の適合性と安全性

日々、多くの人がフロイデンベルグ・グループの製品やサービスを利用しています。そのため、私たちはフロイデンベルグ・グループの製品およびサービスの使用に起因する、顧客または第三者の健康、安全、環境、資産に対するリスク、不利益、危険性をできる限り排除する責任があります。これは法的な義務というだけでなく、フロイデンベルグ・グループの

製品に適用される法律、公式な要件、社内基準を遵守するというフロイデンベルグ・グループの約束でもあります。フロイデンベルグ・グループの製品は、最先端技術を用いて、法的要件に従って開発されています。文書中および機械に記載されている安全上の注意事項は、常に最新の状態を保ち、安全基準に準拠する必要があります。



## 13. 外国貿易管理法

人、物、国、用途を特定した貿易制限（国際テロリズムへの援助提供の禁止、二重用途物品や武器輸出の際の承認義務、特定の国に対する禁輸措置）は、欧州連合、米国、中国など多くの国の外国貿易管理法で一般的な慣行です。貿易の制限は、経済金融リソースの直接／間接的提供、物品の売買、輸出入、ソフトウェアの提供、技術支援、技術移転、売買・仲介取引、電子データ交換、一般的な情報交換が関係します。このような規定を遵守し

ない場合、懲役、罰金、簡易通関扱いの適用喪失、今後の取引の喪失など、厳しい処罰が行われ、会社の評判が損なわれる可能性があります。適用される制限範囲は定期的に変更されるため、常に監視する必要があります。輸出入の手続き（購買、営業、研究開発、サプライチェーン）に携わる従業員は、規制に違反しないように現行の規制を熟知し、確立されたプロセスを遵守する義務があります。







## 14. 政治活動

フロイデンベルグは政治活動や選挙運動には参加しません。この原則に従い、フロイデンベルグ・グループが金銭的および物品の寄付等で、政党、組織、候補者を支援することはありません。

政治的に不偏不党でありたいというフロイデンベルグの希望は、従業員が勤務時間外に私人として適切かつ法的に許された方法で政治プロセスに参加する権利や、社会活動、慈善活動、ボランティア活動に参加する権利を妨げるものではありません。

## 15. 違法薬物、アルコール、武器

会社の敷地内または勤務時間中の違法薬物の消費、販売、所持、武器の所持は固く禁じられており、懲戒処分の対象となります。会社の敷地内での飲酒は禁止されています。唯一の例外は、特別な会社のイベントの際、指定された場所でのみ許可されます。従業員は、

職場内外を問わず、安全かつ適切に業務を遂行し、雇用責任を果たすことを妨げる可能性のある物質（処方薬を含む）を使用することを禁じられています。会社の敷地外で行われる事業活動も、関連する適用法律を遵守することが必要です。

## 16. 公式声明

明示的に権限を与えられた者のみが、会社を代表して公式声明を出し、フロイデンベルグに関する情報を公表することができます。メディアまたは社外からの問い合わせは、必ず役員会、広報担当部署、またはそれらに対応する権限を持つ人物に転送される必要があ

ります。その他のメディア（例：ソーシャルネットワークや同様のコミュニケーション手段）が使用されている場合、同じ原則がフロイデンベルグおよびフロイデンベルグ・グループの事業活動に関する情報公開に適用されます。



